



「あらペンのおねがい」

子ども向け啓発事業

作成の経緯

荒川区では、子どもたちが食べ物の大切さや食品ロス削減に興味をもち、日々の生活の中で『もったいない』の心を育むことができるようにとの思いを込めて、食品ロス削減に係る子ども向け啓発用絵本『あらペンのおねがい』を作成しました。



作成過程

作成にあたっては、荒川区ならではの作品を作るため、荒川区在住の絵本作家である松田奈那子先生と、区立保育園の保育士と協働で作成。子どもたちの成長過程に応じながら、「食品ロス」について分かりやすく伝えることができるよう、アイデアを出し合い作成しました。



絵本の活用

区内各図書館や子育て関係施設、小学校などの他、区内保育園・幼稚園に通う5歳児全員に配付しました。加えて全国の基礎自治体へも配布することで、多くの方々に食品ロス削減や地球温暖化防止などについて考える機会の創出を図っております。

なお、保育園で行った給食残渣量調査でも、当絵本読み聞かせ後の残渣量が大きく減ったという結果が出ており、子どもたちの意識変化が現れていることが実証されました。

